

高等教育白書"Students at the Heart of the System"の発表

2011年7月4日

JSPS London

6月28日、ビジネス・イノベーション・技能省（Department for Business Innovation and Skills: BIS）は、高等教育白書¹"Students at the Heart of the System"を発表した。

政府は、本白書に基づく高等教育改革を進めることによって、財政的に持続可能な高等教育の構築や大学等における学生の経験の改善、Social Mobility（階級移動能力）の向上等に挑戦していくことを表明している。

白書は4つの領域で構成されており、要点は以下のとおり。

1. 財政改革（授業料値上げと学生ローンの充実）

○戦後最大の財政赤字を抱える政府は、公的支出の削減を迫られている。高等教育分野では、授業料の値上げによって学生の負担が増えることになるが、初めて学士課程を受講するフルタイムの学生には、授業料の前払いを必要とせず生活費もカバーする額のローンを提供し、また、卒業後の収入が年間£21,000に達した時点から月給の一部を返済してもらう"pay as you earn"制度を設ける。

○同制度によると、2014-15学事年度における財政支出は約10%増加することが見込まれるが、ローンで賄われた部分は卒業生の返済でいずれ埋め合わされることとなる。

2. 大学における学生の経験改善

○個々の高等教育機関に対する厳密な入学定員管理を緩和することで、人気の高い大学の成長が促進されるとともに、全大学が生き残りをかけ、学生により良い経験（教育・評価・フィードバック・就職支援等）を提供していかなければならなくなる。具体的な内容は以下のとおり。

・2012-13学事年度において、全体で85,000人の競争的な追加入学枠を設ける。

- 大学は、入学試験（A-Level）においてAAB以上を獲得した成績優秀者約65,000人を自由に入学させることができる。

- 年間授業料を£7,500以下に設定し、その価値に見合った質を有するとされた大学やカレッジは、約20,000人までの学生を追加入学させることが可能となる。

・政府資金に頼らない、企業やチャリティ団体からの奨学金によって賄われる学生は、定員管理の枠外とすることができる。

○継続教育カレッジをはじめとする大学以外の多様な高等教育機関に対する法的規制を緩和し、学生の選択肢の多様化を図ることにより、高等教育機関による質の高い教育への注力等につなげていく。

○各機関で得られる資格や卒業生の就職・収入状況等に関する情報をコース毎にきめ細かく提供するよう、UCAS²や各高等教育機関に促していく。

¹ 英国における「白書」とは、特定のテーマにおける政府の今後の方針を詳細に示した文書。法案の土台となることが多く、議会で法案として公式に提出される前のフィードバックを得る用途としても活用されている。

² Universities & Colleges Admissions Service：高等教育機関へ進学する際に出願に関する処理を行う機関。進学希望者や高等教育関係者への情報提供などのサービスも行う。

3. Social Mobility の促進

- OFFA³の独立性を保ちつつ、その機能強化を図る。OFFA は、高等教育機関による"Access Agreement"の実施状況をモニタリングし、毎年見直しを行う。
- 最貧の学生にも高等教育を受ける機会を拡げるため、2012 年から"National Scholarship Programme"を開始し、£1 億 5,000 万を投じる。
- 貧しい境遇の学生や、入学試験で事前に示された成績期待値よりも優れた結果を出した学生を支援するための新たな入学システム"Post-Qualification Applications (PQA)" について、UCAS による入学プロセスに関する見直しの結果を待って更なる検討を行う。

4. 高等教育新規参入機関に対する規制の緩和

- イギリスの高等教育制度への新規参入を望む全ての機関に対する単一かつ明確な規制の枠組みについて検討を行う。例えば、学位授与権の取得と更新に関する基準の見直しを行い、仕組みを単純化する。また、「大学」と称する基準に関して検討を行い、外部機関が授与する学位のために教育を提供したり、試験だけを実施したりするような小規模機関の参入を容易にする。さらに、学位授与に対する外部評価を促進するため、教育母体から学位授与権を分離させる。

【BIS のプレス発表と白書全文】

<http://www.bis.gov.uk/news/topstories/2011/Jun/he-white-paper-students-at-the-heart-of-the-system>

【関係機関の反応】

- ・ UUK (Universities UK)
<http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/Responsetogovernmentwhitepaperonhighereducation.aspx>
- ・ RCUK (Research Councils UK : 英国研究会議)
<http://www.rcuk.ac.uk/media/news/2011news/Pages/110628.aspx>
- ・ OFFA
<http://www.offa.org.uk/press-releases/offa-comments-on-higher-education-white-paper/>
- ・ HESA (Higher Education Statistics Agency : 高等教育統計局)
<http://www.hesa.ac.uk/index.php/content/view/2149/161/>

【関連記事】

- ・ Guardian
<http://www.guardian.co.uk/education/2011/jun/28/universities-to-market-courses-to-top-students>
- ・ The Independent
<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/universities-to-fight-for-places-2303798.html>

(了)

³ Office for Fair Access : 高等教育への公平なアクセスを保護・促進する役割を担う非政府公的機関。高額授業料の設定を望む英国の大学・カレッジは、OFFA と 'access agreement' を締結する必要があり、OFFA はその承認と監視を行う。